



「よくなる！」新聞

2023年 7月

こんにちは！みなさまお元気ですか？6月は梅雨でどんより曇り空の日が多かったですね。毎年湿気が多い時期はひざを痛める人が多いです。7月になると急に暑くなる日が出てきます。こういう時に腰痛になる方が出てきます。環境の変化に対応できるからだにしていけることも全体の役目です。一緒に乗り切りましょう！

かかとの痛み

かかとの痛みが起きるとしつこくなりがちで厄介な問題です。朝起きるときの一歩が痛い。椅子から立ち上がるときも困る。こんな感じで数か月我慢している方も多いです。来院されるかたのお身体を見てみると、4つほどの原因が見られます。①ふくらはぎの筋肉がねじれている。②仙骨のゆがみから始まっている。③足に邪気が溜まっている。④からだの重心が片寄っている。①のふくらはぎの筋肉のねじれは、押さえてみると痛いのでわかります。ねじれを解消するようにすると踵の痛みが軽減します。②の仙骨のゆがみははっきりと左右の違いが見られます。③の邪気とは、老廃物のようなものです。ヒトは酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するようにさまざまなものを身体から発します。邪気とはいらなくなったものが溜まっている状況と考えていただくとわかりやすいです。整体での邪気を払う方法を使うとかかとの痛みが取れたりもします。④のからだの重心の偏りを正すと、床をとらえている足の裏の感じから変わってきます。本来の位置とは違う場所で床を踏みしめていたから、足の裏が痛くなったと気が付かれるようです。あと一つ重要なことは、からだの中で一番負担のかかっている場所で大事な役目をしていたのだな。と発見やいたわりの気持ちを持つとそこから早くいい方向に変化していくようです。

今さらながら経絡が役に立っています。

実は私は鍼灸師でもあります。20代のころに鍼灸学校に通って鍼灸師の資格を取得しました。鍼灸の学会に参加して勉強をしていたのですが、整体の師匠に恵まれて今では『針を打たない鍼灸師』になってしまっています。手の痛みやばね指に対して、経絡の働きを応用すると目が覚めるような効果が得られることがわかりました。手に触れないでも良くなるので不思議なのですが、経絡の調整でこういうことが起きています。

ガダルカナル島からの帰国お疲れ様です。

学生時代の先輩がガダルカナル島に戦没者の遺骨収集事業に参加されて帰国しました。約二週間にわたって遺骨の収集に従事して、まだまだ出ていないことの多さに目が行ってしまい帰るのが名残惜しい気分だったようです。戦後80年経っても手りゅう弾は爆発する危険があるので事故が起こることも覚悟されていたようです。写真は釣ったタコで慰労会です。



父の日のプレゼント

ある日、ひげそり用のクリームを使って次女は何かをしていました。「また使って。すぐ無くなっちゃう！」という、奥さんが「お父さんにプレゼントを作っているの。」と言うので、それ以上言うことも出来ず、そのことを忘れていました。父の日に私が受け取ったものは？何でしょう？受付に飾ってあります。笑



あなたにとって大切な方をご紹介ください。心を込めて施術いたします。

足の捻挫が早く良くなったので助かったと聞いてきました。

Tさん談

腰痛が良くなった友人が信頼できる。と教えてくれました。

Hさん談

大切なひとには心を込めて整体します。紹介された方初見料 2000 円引き

あいば院の駐車場は2台です。東へ100Mと整体院の前に一台

兵庫県西宮市高松町 18-1 阪急西宮北口駅 東出口から徒歩 3 分

休院日 日曜日、祝日 ☎ 0798-66-0099